

ボランティアについて考える～50日間のボランティア活動～



		金塚 元 多賀城市立多賀城中学校 教諭／数学	
教科	総合的な学習の時間 6時間	対象	3年3組 男18名 女17名 計35名

I 実践の目的

今回実践授業を行うにあたって、私自身が研修を通して感じ、考えてきた過程を、実際にパラグアイ等発展途上国に行ったことがない生徒に追体験させ、新たな価値観、視点をもたせたいと考えていた。

本授業では、ボランティア活動について考えることに重点を置いた。第1のねらいは、国際協力や海外ボランティアに興味・関心をもたせることである。第2のねらいは、ボランティア活動について理解させることである。第3のねらいは、支援のあり方について考えようとする態度を身に付けさせることである。第4のねらいは、支援について正しい方法や意義が判断できる力を養うことである。また、本授業を自身も国際社会に寄与しようと考えたり、ボランティアに参加しようと考えたりするきっかけとしたかった。

II 授業の構成

【第1・2時】 ボランティア活動について考えよう

【第3～6時】 50日間のボランティア活動

時数	授業の概要	ねらい
1	(3～4人のグループワーク) ①パラグアイの写真でフォトランゲージを行う。 ②写真を見て気付いたことを挙げる。 ③写真の場所に自分たちが派遣されるとしたら、どのようなボランティア活動ができるか考える。	・パラグアイに興味・関心をもたせる。 ・国際協力・ボランティアに興味・関心をもたせる。
2	(一斉、個) ①パラグアイについて知る。 ②パラグアイで活躍するボランティアの活動内容や、エピソードを聞く。 ③ボランティアの方々が大切にしていることについて考える。 ④前時で扱った写真について詳細を確認する。 (3～4人のグループワーク)	・実際に活躍しているボランティアの活動について理解し、支援のあり方について考えようとする態度を身に付けさせる。

時数	授業の概要	ねらい
3	⑤前時で考えたボランティア活動について再検討する。 (3～4人のグループワーク) ①活動計画書の下書きの作成 ②活動日程表の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・活動計画書を作成する活動を通して、支援のあり方について考えようとする態度を身に付けさせる。 ・活動計画書を作成する活動を通して、ボランティアが行う支援のあり方について考え、支援の正しい方法や意義が判断できる力を養う。 ・他チームの発表を聞き、自己評価、他の活動の評価を行うことで、支援の正しい方法や意義が判断できる力を養う。
4	③活動資金計画の作成 ④活動計画書の清書の作成 ⑤発表準備	
5	(ポスターセッション) ①50日間のボランティア活動の活動計画について発表する。	
6	②他の班の発表を聞き活動の評価を行う。 ③振り返りで自己評価と今回の授業を通しての感想を記入する。	

Ⅲ 授業の詳細

第1時

第1時では、パラグアイの写真を教材とし、興味・関心を持たせようとした。また、どのようなボランティア活動ができるかを考える際には、次時でボランティア活動における大切なことについて自身で気づき、活動の再検討ができるよう、あえて全く知識のない状態で考えさせた。

各グループに場所の異なる4枚の写真を配り、同じ場所・地域で撮影したと思われる写真を4枚集める活動を行った(図1参照)。共通点が見つけられる写真、それとは逆に大きなギャップの感じられる写真も混ぜた。また、パラグアイの実状や課題が見やすいよう写真を選んだ。日本と大きく異なる風景が写っている写真に、多くの生徒が興味・関心を持ち、様々な気づきがあった。その気づきをもとに、どのようなボランティア活動を行うかを考えた際には、「ゴミ拾い」「食べ物を渡す」「募金を集める」といったものが多かった。

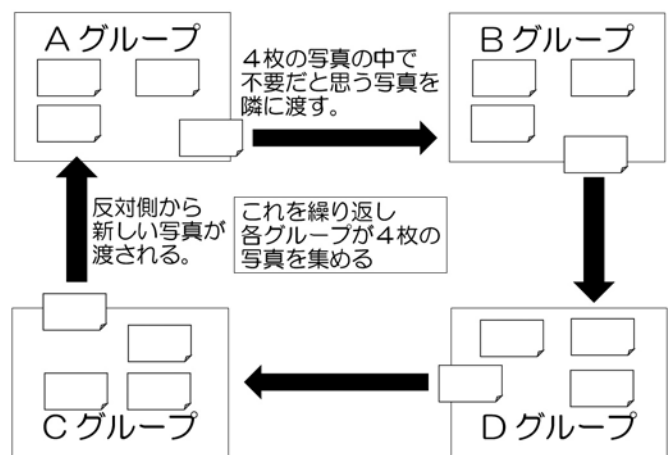


図1

〔生徒の作成物〕

活動計画書下書き：プロジェクト名，プロジェクトメンバーと役職，活動場所，派遣先の現状，活動内容，活動の目的，活動の動機，誰のために行うか，活動の効果の予想，活動の評価方法と
いった10の項目について詳細に記入させた。

『50日間のボランティア活動』 活動計画書（下書き）																							
チーム（ ）名前（ ）																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">1プロジェクト名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2プロジェクトメンバー <small>※リーダーは全体の統括 ※広報は発表の中心 ※経理は経費の計算</small></td> <td>プロジェクトリーダー： 広報： 経理： 動まし：</td> </tr> <tr> <td>3活動場所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4派遣先の現状 <small>※活動内容，活動の目的 につながるもの</small></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5活動内容</td> <td></td> </tr> </table>	1プロジェクト名		2プロジェクトメンバー <small>※リーダーは全体の統括 ※広報は発表の中心 ※経理は経費の計算</small>	プロジェクトリーダー： 広報： 経理： 動まし：	3活動場所		4派遣先の現状 <small>※活動内容，活動の目的 につながるもの</small>		5活動内容		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">6活動の目的 <small>※派遣先にどのような変化をもたらすための活動なのかを具体的に記述する</small></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7活動内容の動機 <small>※派遣先の現状と絡めて記述する</small></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8誰のために行うか</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9活動の効果の予想 <small>※目的以外にも追加の効果 が期待できる場合も きめて記述する</small></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10活動の評価方法 <small>※評価方法に加えて，ど のように変化した場合 プロジェクトが成功し たと判断できるかを具 体的に記述</small></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11その他</td> <td></td> </tr> </table>	6活動の目的 <small>※派遣先にどのような変化をもたらすための活動なのかを具体的に記述する</small>		7活動内容の動機 <small>※派遣先の現状と絡めて記述する</small>		8誰のために行うか		9活動の効果の予想 <small>※目的以外にも追加の効果 が期待できる場合も きめて記述する</small>		10活動の評価方法 <small>※評価方法に加えて，ど のように変化した場合 プロジェクトが成功し たと判断できるかを具 体的に記述</small>		11その他	
1プロジェクト名																							
2プロジェクトメンバー <small>※リーダーは全体の統括 ※広報は発表の中心 ※経理は経費の計算</small>	プロジェクトリーダー： 広報： 経理： 動まし：																						
3活動場所																							
4派遣先の現状 <small>※活動内容，活動の目的 につながるもの</small>																							
5活動内容																							
6活動の目的 <small>※派遣先にどのような変化をもたらすための活動なのかを具体的に記述する</small>																							
7活動内容の動機 <small>※派遣先の現状と絡めて記述する</small>																							
8誰のために行うか																							
9活動の効果の予想 <small>※目的以外にも追加の効果 が期待できる場合も きめて記述する</small>																							
10活動の評価方法 <small>※評価方法に加えて，ど のように変化した場合 プロジェクトが成功し たと判断できるかを具 体的に記述</small>																							
11その他																							

活動計画書下書き

活動日程表：2016年4月4日～2016年5月23日まで活動を行うと仮定して，50日分の活動日程を作成させた。基本的に土日祝日は休みとして，土日祝日に活動を行う場合には振替休日をとることや，自分たちの活動の成果を評価するための期間を50日間の中で設けることをルールとした。

『50日間のボランティア』 活動日程表 チーム（ ）			
日数	日付	曜日	活動内容
1	4/4	月	
2	4/5	火	
3	4/6	水	
4	4/7	木	
5	4/8	金	
6	4/9	土	
7	4/10	日	
8	4/11	月	
9	4/12	火	
10	4/13	水	
11	4/14	木	
12	4/15	金	
13	4/16	土	
14	4/17	日	
15	4/18	月	
16	4/19	火	
17	4/20	水	
18	4/21	木	
19	4/22	金	
20	4/23	土	
21	4/24	日	
22	4/25	月	
23	4/26	火	
24	4/27	水	
25	4/28	木	
26	4/29	金	
27	4/30	土	
28	5/1	日	祝日「メーデー」
29	5/2	月	振替休日
30	5/3	火	
31	5/4	水	
32	5/5	木	
33	5/6	金	
34	5/7	土	
35	5/8	日	
36	5/9	月	
37	5/10	火	
38	5/11	水	
39	5/12	木	
40	5/13	金	
41	5/14	土	
42	5/15	日	祝日「独立記念日」
43	5/16	月	振替休日
44	5/17	火	
45	5/18	水	
45	5/19	木	
47	5/20	金	
48	5/21	土	
49	5/22	日	
50	5/23	月	

活動日程表

- ・ゴミ処理の習慣化の指導による環境改善
- ・緑化活動及び公園整備
- ・日系居住区における生け花指導

など

また、生徒は他の班の活動について評価を行った。評価については「持続可能な支援になっているか」「相手の立場に立って考えているか」「実現できそうか」「効果は期待できるか」の4観点に加えて、「良い点」「課題点、疑問点」について自由記述させるようにした。また自己評価、授業を通しての感想を記入させた。

班	継続可能な支援になっているか	相手の立場に立って考えているか	実現できそうか	効果は期待できるか	良い点	課題点、疑問点
A						
B						
C						
D						
E						
F						
G						
H						
I						

評価シート

〔生徒の自己評価〕

A, B, C, D, Eの5段階評価でAが「できた」、Cが「普通」、Eが「できなかった」

※数値の単位はすべて%

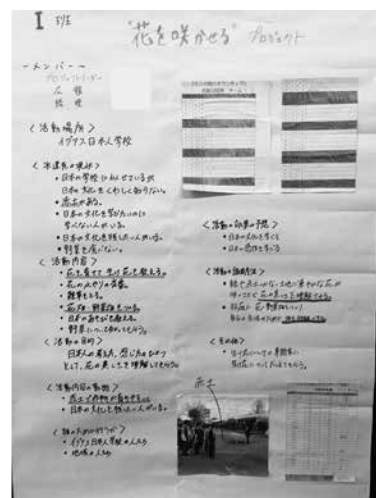
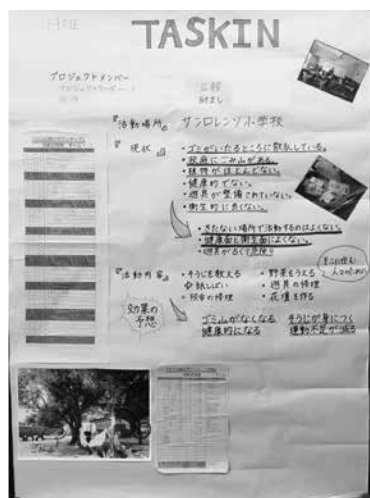
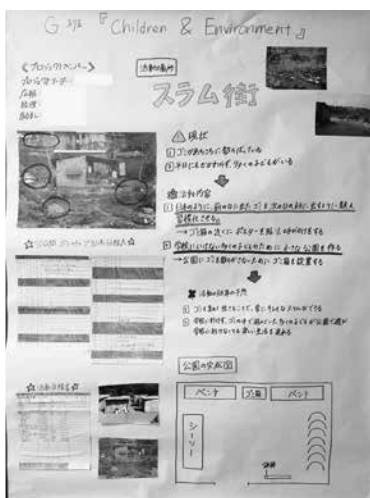
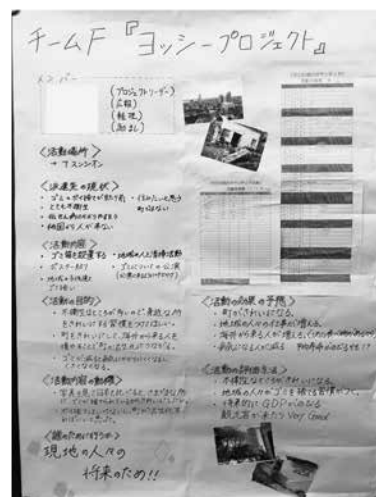
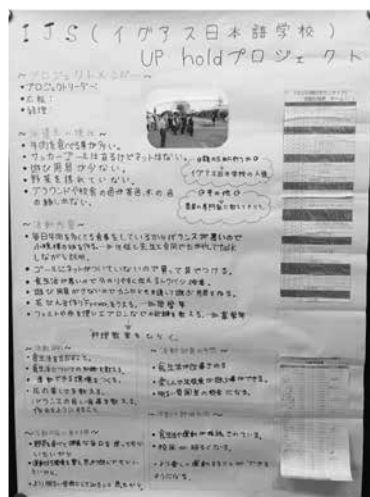
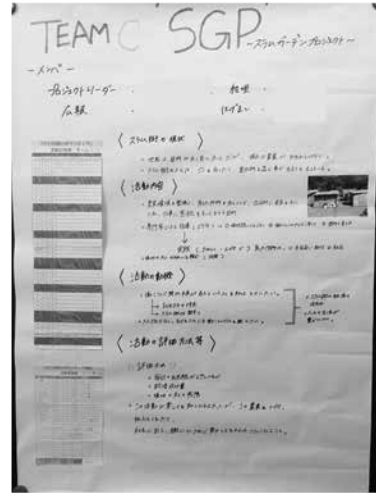
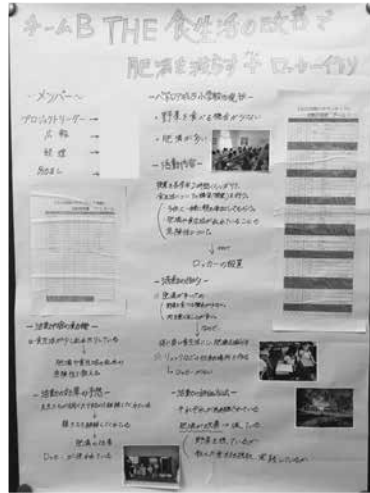
観点	A	B	C	D	E
国際協力やボランティアについて興味・関心をもつことができましたか。	75	19	6	0	0
ボランティア活動で大切なことについて考えることができましたか。	91	9	0	0	0
ボランティア活動を行う上で大切なことは理解できましたか。	78	19	3	0	0
50日間のボランティア活動では主体的に考えることができましたか。	56	31	13	0	0
他の班の発表を聞いて、客観的に評価することができましたか。	63	37	0	0	0
他の班の発表を聞いて、ボランティア活動のあり方が正しいかどうか判断することができましたか。	56	41	3	0	0

〔授業後の生徒の感想〕

- ・今までボランティアなんて必要ないと思っていたのですが考えがすべて変わりました。ボランティア活動はやりがいがあり、現地にいる人の役に立つ素晴らしい活動だと思いました。
- ・今できるボランティアを自分からやっと思いしました。
- ・自分たちにできることは確かに限られているけど、本当は沢山あったのではないかという考え方に变化していきました。将来、日本でも良いからボランティア活動を行う仕事に就きたいと具体的に考えるようになりました。
- ・計画を立ててみると、色々なことを深く考えなければいけなくて大変でした。本当にボランティアをしている人達は、私達の何倍も大変で何倍も難しいことをしているのだと、今回をきっかけに知りました。
- ・ボランティアの活動のことを知りたい気持ちが大きくなりました。
- ・ボランティアは誰かのために、何度も何度も計画を練って、より良いものにしようと頑張っている人がいるからこそ実現できると思いました。また、そういう人達のためにボランティアに協力することの大切さもわかりました。

・日本という限られた場所で育った私は、これからもっと視野を広げていくべきだと思います。将来このようなボランティア活動に参加していきたいと思います。そして今回の授業のように未来の子ども達に伝えていきたいと思います。 など

〔生徒が作成した活動計画書〕



IV 実践の成果

- ・写真を使うことで興味・関心をもたせることができた。
- ・生徒が主体的に考え、活動していく中で様々なことに気づきボランティアについての考えを深めさせることができた。
- ・生徒の意見を授業ごとに書かせることで、考えが次第に深まり、生徒のボランティアに対する考え方が変容していく様子がよく見て取れた。
- ・ボランティアに興味・関心をもち、将来ボランティアに参加したいと考えるようになった生徒が多かった。
- ・自己評価、他者評価をしっかりと記述させることで、ねらいがどの程度達成できたか具体的に把握することができた。

V 課題

- ・リアリティーを求めても仮定の話にしかならないので、中学生の内に実践に結びつけることは難しい。
- ・実際には、50日間の活動では持続可能な支援を行うことは難しい。
- ・発表の仕方に工夫が必要であった。
- ・教師側の準備も生徒の準備も多くの時間を要する。
- ・教材化するにはもう少し内容をスリムにする必要がある。

関連する学習指導要領の内容と文言

第1 目標

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、より良く問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態や度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

1 指導計画の作成に当たっての配慮事項

(5) 学習活動については、学習の実態に応じて、例えば国際理解、情報、環境、福祉健康など横断的・総合的な課題についての学習活動、地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動、職業や自己の将来に関する学習活動などを行うこと。

2 内容の取り扱いについての配慮事項

(2) 問題の解決や探究活動の過程においては、他者と協同して問題を解決しようとする学習活動や、言語により分析し、まとめたり表現したりするなどの学習活動が行われるようにする。